

令和4年度 居住支援オンライン研修会実施報告書

直轄地区居住支援協議会事務局

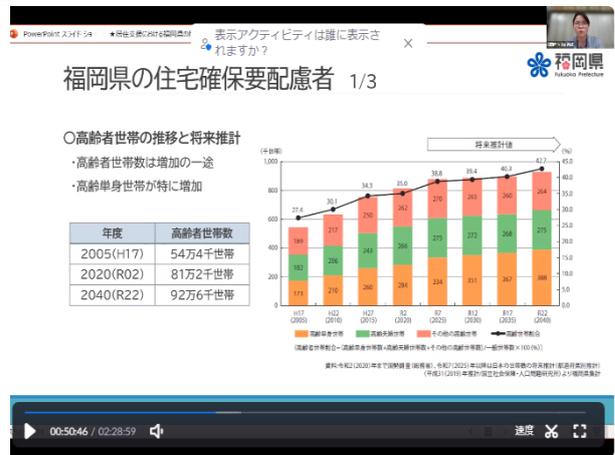
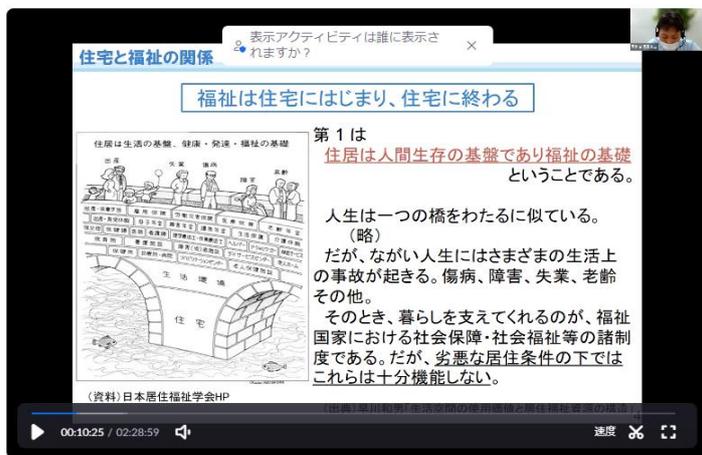
一般社団法人そーしゃる・おふいす

開催日時 : 令和4年8月24日(水) 13:30~16:00

- 講演①「住宅セーフティネット制度の現状と今後の展開」
 講師：国土交通省住宅局 安心居住推進課 課長補佐 山口秀太様
- 講演②「居住支援における福岡県の取り組み状況」
 講師：福岡県住宅計画課 松崎透子様
- 講演③「居住支援の現状と課題」
 講師：大阪人間科学大学 社会福祉学科 准教授 石川久仁子様

参加者 : 39名 アンケート提出者 : 26名

アンケート回収率 67%



直轄地区居住支援協議会 居住支援オンライン研修会
 2022年8月24日

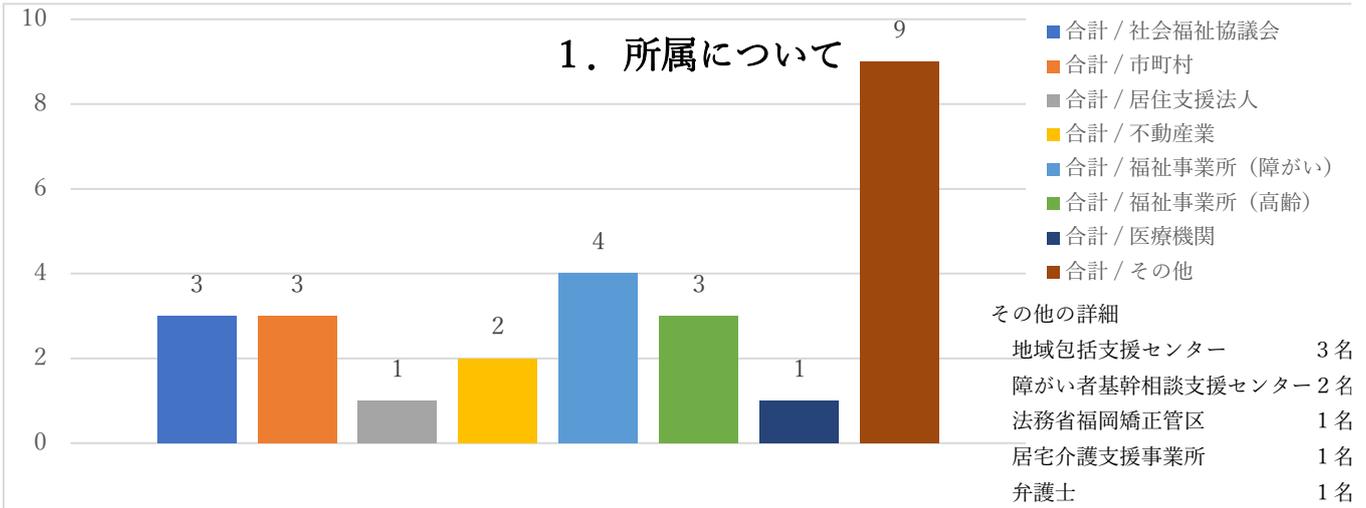
居住支援の現状と課題

大阪人間科学大学 社会福祉学科 石川 久仁子



アンケート結果 (次ページ)

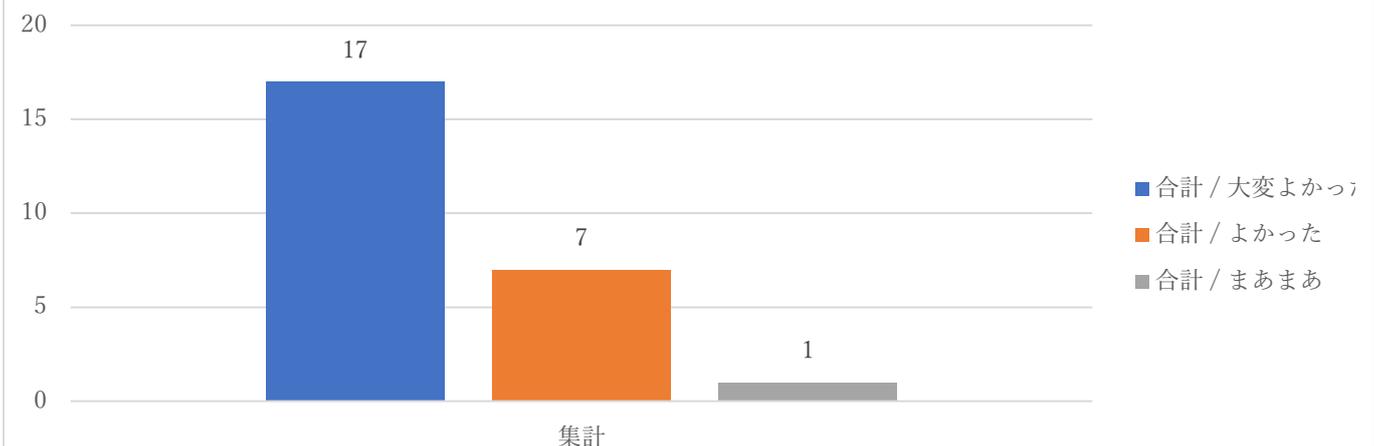
1. 所属について



2. 今回の研修に参加した理由

- ・ 居住支援について知りたかったから (6名)
- ・ 住宅セーフティネット制度を知りたかったから
- ・ 居住困窮ケースでの対応を勉強したかったから
- ・ 利用者の支援の中で、居住問題は大きく、必要性を感じたため
- ・ 居住支援という言葉を知り、これからの業務 (包括支援センター) に活かせると思ったから
- ・ 居住支援法人サポートセンターのセミナー案内情報より、講演内容が聞きたい内容であったため
- ・ 熊本県内における居住支援法人の伸び悩みを打開するため
- ・ 小規模自治体での居住支援協議会設立の難しさを知るため
- ・ 福岡県の居住支援の取組を知ること、熊本県との比較材料を得るため
- ・ 歯切れのいい石川先生の講演を聞いて元気になるため
- ・ 高齢者や生活困窮世帯の居住支援に対する勉強のため
- ・ 事務局から案内をもらい、勉強したかったため
- ・ 幅広く知識を得たかったため
- ・ 事務局から誘われたし、居住支援について取り組んでいきたいと思っているため
- ・ 居住支援法人の現状を知り、居住支援の具体的な課題とその解決方法について学びたいと思ったから
- ・ 講師 (国・県・専門家) の構成が良かったから
- ・ 住宅の転居などで困っている人の相談を受けるため
- ・ ここ最近、障がい者の方の単身生活へのサポートが続き、タイムリーな話題だったため
- ・ 地域生活支援拠点整備事業として、親亡き後の暮らし、8050、突発的な居住課題が生じる事を想定して、様々な資源活用の知識を得たかったため
- ・ 居住支援の現状と内容を学びたかったため (3名)

3. 今回の研修に参加した感想



3. 今回の研修に参加した感想（具体的）

- ・ 居住支援についてわかりやすく学ぶことができた。今後の支援に活かしていきたいと思う。
- ・ 分かりやすい説明だった。
- ・ 私たちの地域にも活用できうる社会資源があることが分かり良かった。でも、登録物件がまだ少ないので早く増えてほしい。
- ・ 初めて聞く事例が多かった。
- ・ 大阪府の具体的な事象を聞くことで、居住支援の流れや課題が見えたこと、協議会で行うことなど、イメージができた。
- ・ 福祉の基本は住居が大切ということが理解できたから。
- ・ 他県の居住支援に関する活動状況が把握できたこと。聞きたい内容が聞けたこと。
- ・ 石川先生の話は、居住支援だけではなく、支援全般に通じることのように感じた。福岡県内の居住支援協議会までの背景等が参考になった。
- ・ 各講師の章立てがよかった（事務局が優秀）
- ・ 地域によって居住支援のサービスの差があることが学べた。
- ・ 国や県の説明は初めての情報が多く、少し混乱したが、石川先生の話はスムーズに理解できた。
- ・ 石川先生の説明で「居住支援」の概念の整理と、実践に向けての指標が得られた感じがある。
- ・ たくさんの地域の活動内容が聞けたことと、地域の現状が聞けてよかった。大変参考になった。ケアマネジメントも、連携連携でいつも請われている。
- ・ 国、県の取り組み、今後の課題など丁寧に説明してもらえたので良かった。
- ・ 他の法人の取り組みから、当社会福祉協議会の課題が見えてきた。今後の参考にさせていただきたい。
- ・ 石川先生の話が分かりやすかった。
- ・ 福岡県で居住支援に取り組んでいる状況がよくわかった。ありがとうございました。
- ・ 住民や不動産業界に対しての働きかけの仕方など、事例紹介等聞いてみたい。
- ・ 私自身、4月に入社したばかりで知識不足の中、研修に参加させて頂いた。貴重な機会を頂き、ありがとうございました。
- ・ 居住支援の最新の動向に加え、福岡県の取組状況について知ることができた。
- ・ 居住支援について大まかな内容を知ることができた。
- ・ これまで保証人がいない方の住居探しに困っていた。居住支援制度を知り、高齢者女性が住居を見つけることができ、助かった。研修の中でも、住居は生活の基盤であり、住宅の上に福祉政策があると言われていた。住居が定まらないと、次なる支援につながらない。まさにその通りだと痛感した。

4. 住宅セーフティネット制度や居住支援協議会に対する意見

- ・ 嘉飯山地区でも協議会を作ってほしい。
- ・ 今後、居住困窮ケースでご連絡することがあると思いますが、よろしくお願いします。
- ・ 大変な仕事だと思いますが、これからはますます重要になってくると思いますので、根気強く頑張ってください。
- ・ 経済的な問題と、住居+生活支援があれば、地域で生活できる人は少なくないと思う。
- ・ 石川先生が課題として取り上げたとおり、それ以上でもそれ以下でもない。とても的確なご指摘でした。
- ・ 居住支援協議会が飯塚市にもあればと思いました。包括支援センターへの相談で、いろいろ
- ・ 困りごとのある方の支援では是非必要と感じました。
- ・ 養護老人ホーム環境及び経済的に困窮している高齢者のための支援施設であるので、居住支援足りうる施設であるのに、全国的に入所者が年々少なくなっている現状があるようですので、もっと活用出来るよう、役所にて連携できるようになれば良いと思いました。
- ・ 住宅セーフティネット制度を上手く活用できていないので、仕組み等についての変更や修正が必要ではないかと感じます。
- ・ 今回の研修でも課題として上がっていた協議会の発足が進まないこと。財源の確保。
- ・ 住民や不動産業界に対しての働きかけの仕方など。事例紹介等聞いてみたいです。
- ・ 居住支援協議会における刑余者支援についてのお話を聞く機会等があれば、勉強させていただきたい。
- ・ 研修中にチャットで場違いな質問をしてすみませんでした。
- ・ 今後、生活困窮者、生活や住宅に配慮を要する方々の住まいの確保や生活の安定、自立の促進に向けて、福祉分野と住宅分野のより一層の連携が図られることに期待しています。いつも情報提供をありがとうございます。

5. 音声や映像などの視聴に関する問題の有無

- ・ 特になし（18名）
- ・ 福岡県の方の音声途切れることが多かった。
- ・ 時折、音声途切れることがあったが支障はなかった。
- ・ とても良かった。
- ・ 福岡県の担当者の音声が少し聞き取りにくい場面もあったが、特に問題はなかった。
- ・ 県の発表者の音声が少し悪かったが、他は聞き取りやすかった。
- ・ 環境としては問題なく視聴できた。ありがとうございました。石川先生の話、たくさん良いことを話してくださったので、もっと聴きたかった。
- ・ コロナ禍、オンラインでの研修で安心して参加させて頂き、ありがとうございました。何度もアナウンスされていたが、ミュートになっていない方がいたようで、声を拾って聞こえていたのが気になった。
- ・ 福岡県の松崎さんの説明の際に、音声拾えない時があった。